

V. 計算機センター

A) 集計データからわかること

計算機センターで開講している科目は講義のみである。しかし、座学のみではなく、実際には学生1人に1台のパソコンを割当て、それを使う実技を講義の中に取り入れている。授業評価アンケートの設問は Q1 から Q12 までである。

Q1 出席率： 計算機センターの部門別平均 4.70 は、大学全体の 4.52 と比べ高い。また計算機センターの部門別標準偏差 0.241 は、大学全体の 0.340 よりも小さい。この結果、計算機センターで開講している講義科目では、学生全体の出席率が高いことが読み取れる。出席率(Q1)と意欲(Q2)の相関係数は、0.198 と低く、昨年の 0.273 より更に低下しており、学習意欲が出席率に結びついているわけではないことがうかがえる。計算機センター開講授業のうち「初等情報処理 1」の単位取得は、計算機センターのコンピュータを卒業まで利用するための条件となっているため、義務的・受け身的な態度で授業を受ける学生が多いと考えられる。

Q2 意欲的か： 計算機センターの部門別平均 3.56 は、大学全体の 3.74 よりもやや低い。学習意欲(Q2)と、理解度(Q7)、知的好奇心(Q9)及び総合評価(Q10)の相関は、それぞれ、0.306, 0.403, 0.380 の弱い相関となっている。これは、情報処理科目に対して学生が義務的・受け身的な態度になっていることを示していると思われる。

Q3 授業レベル Q4 速さ： 授業レベル(Q3)の評価については、計算機センターの部門別平均 3.88 は、大学全体の 4.24 より低い。また、授業の速さ(Q4)の評価においても計算機センターの部門別平均 3.86 は、大学全体の 4.40 より低い。計算機センターで開講している科目は、授業レベルがやや高く感じ、授業進度が速く感じる学生が比較的多い。また授業レベル(Q3)の評価の計算機センターの部門別標準偏差 0.602 は、大学全体の 0.554 より高い。これは、他の授業と比較して、学生の要求する授業のレベルに大きなばらつきがあり、コンピュータの知識の個人差が大きいことを反映している。

Q5 教員の熱意 Q6 教員の環境保全 Q7 授業のわかりやすさ Q8 教員の話し方 Q9 新たな知見 Q10 総合評価： Q5～Q10 のいずれの設問においても計算機センターの部門別平均は、大学全体よりも約 0.5 低い。設問内容から容易に推測できるように、Q5 から Q8 における設問項目における評価の低さが、Q9 と Q10 の評価の低さに繋がると考えられる。すなわち、授業中における教員の熱意、教員の環境設備、理解のしやすさ、そして話し方に対する評価が低いと、授業から受ける知的好奇心と満足度の評価も悪くなる。この

傾向を持つのは計算機センターも例外ではない。

Q11 板書・スライドの提示： 計算機センターの部門別平均 3.60 は、大学全体の 3.66 とくらべるとわずかに低いものの、授業の分かりやすさ(Q7)と教員の話し方(Q8)の評価が大学全体の評価より 0.5 低いことと比べると高い評価であり、一貫性がないように見える。これは、スライド等での視覚的・直感的分かりやすさに比べて、情報処理科目特有の専門用語に対する聞き取りや親しみのなさに起因するのではないかと思われる。また、学生がスライド等で提示したイメージどおりにパソコンを操作できないと感じていることを示していると考えられる。

Q12 教材（教科書、配布資料等）の内容： 計算機センターの部門別平均 3.69 は、大学全体の 3.88 と比べやや低い数値となっている。板書・スライドの提示(Q10)との相関は高く、授業の教材の準備が十分になされているかという視点で評価を受けていると考えられる。

B) 今後の授業改善に向けて

概して学生の授業への評価が全学平均よりもやや低い傾向にあり、個々の学生のニーズ・レベルに合わせて授業の改善をする必要がある。ただし、計算機センター開講科目の特色として、次の2点に留意しなくてはならない。

- 1) 計算機センターで開講している講義科目のほとんど（約 75%）は、コンピュータの基本操作等の情報リテラシー教育を行う「初等情報処理」であり、その受講生の大部分は1年生である。またそのクラス規模は、50名から100名に及ぶ。一般的な傾向として、総履修者数が多くなるほど、授業の総合評価は低くなり、学年が低いほど、授業の総合評価は低くなっており、計算機センターの開講科目も、同様の傾向を示していることがわかる。
- 2) 特に初等情報処理の一学期開講科目である「初等情報処理1」においては、この単位を修得した学生に限り、卒業まで継続してコンピュータを利用できる権利を与えている。すなわち在学中に継続して大学でコンピュータを利用したい学生の大部分は、「初等情報処理1」の単位を修得する必要があり、出席は必須である。

「初等情報処理1」を履修する学生のコンピュータ操作のスキルには、大きな個人差がある上に、実際にコンピュータを操作しながら授業を進める形態であることから、授業に一度ついていけなくなると、その後授業内容がわからないままに、ただ義務的・受身的に授業に出席するという状態に陥りやすい。

質問項目の評価、および評価間の相関は、2006年度の授業評価と今回の結果で、顕著な変化が見られなかった。1)と2)の特徴をしっかりと踏まえ、義務的に出席している学生が、よりいっそう学習意欲や好奇心を感じられるように授業を改善してゆくことが望まれる。また、高等学校による教科「情報」の必修化により、個々の学生のコンピュータ操

作のスキルの差はさらに広がる傾向にあり、すべての学生に満足いくレベルの授業を行うことがいっそう難しくなりつつある。今後は、学生の学習意欲を高めるために、能力別クラス編成の導入などの柔軟な情報処理教育体制も視野に入れて、授業の改善を進める必要がある。



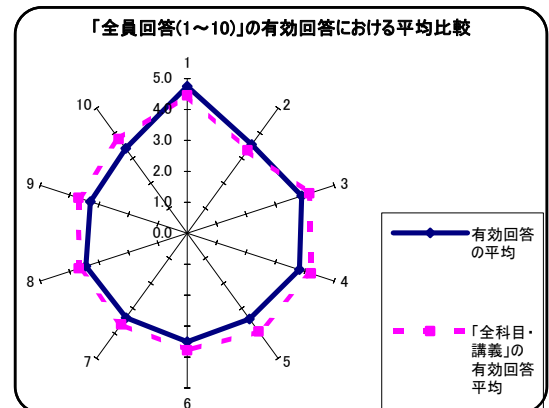
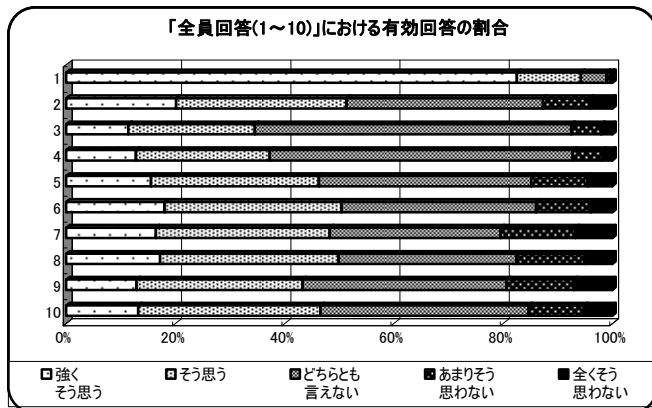
学習院大学 平成19(2007)年度 授業評価アンケート 集計結果

部門名 計算機センター

| | | | |
|-----|-------|-------|--------|
| | 合計 | 総履修者数 | 回収率 |
| 回収数 | 3,711 | 5,141 | 72.18% |

形態名 講義

| 回答対象 | 番号 | 質問内容 | 回答者ベース | | | | | | 計 | 学生回答 単純集計 平均 | 学生回答 単純集計 標準偏差 | 科目ベース | | | | | |
|--------------------|---|--|------------|--------|---------------|---------------|--------------|-------|---------|--------------------|----------------------|------------------|--------------------|------|-------|------|-------|
| | | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 無回答 | | | | 部門別 形態別 平均 | 部門別 形態別 標準偏差 | | | | |
| | | | 強く そう思う | そう思う | どちらとも 言えない | あまりそう 思わない | 全くそう 思わない | | | | | | | | | | |
| 「全員」 回答 | 1 | 私はこの授業によく出席している 5:出席率90%以上 4:出席率89~80% 3:出席率79~70% 2:出席率69~50% 1:出席率49%以下 | 3,031 | 429 | 172 | 26 | 13 | 40 | 3,711 | 4.75 | 0.604 | 4.70 | 0.241 | | | | |
| | 81.68% | 11.56% | 4.63% | 0.70% | 0.35% | 1.08% | 100.00% | | | | | | | | | | |
| | 2 | 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる (事前の準備や復習等を含む) | 736 | 1,141 | 1,314 | 313 | 149 | 58 | 3,711 | | | | | 3.55 | 1.033 | 3.56 | 0.320 |
| | 19.83% | 30.75% | 35.41% | 8.43% | 4.02% | 1.56% | 100.00% | | | | | | | | | | |
| | 3 | この授業のレベルについて 5:高すぎる 4:やや高すぎる 3:適切である 2:やや低すぎる 1:低すぎる | 418 | 849 | 2,121 | 201 | 76 | 46 | 3,711 | | | | | 3.89 | 1.437 | 3.88 | 0.602 |
| | 11.26% | 22.88% | 57.15% | 5.42% | 2.05% | 1.24% | 100.00% | | | | | | | | | | |
| | 4 | この授業を進める速さについて 5:速すぎる 4:やや速すぎる 3:適切である 2:やや遅すぎる 1:遅すぎる | 468 | 898 | 2,029 | 195 | 69 | 52 | 3,711 | | | | | 3.82 | 1.463 | 3.86 | 0.543 |
| | 12.61% | 24.20% | 54.68% | 5.25% | 1.86% | 1.40% | 100.00% | | | | | | | | | | |
| | 5 | 授業に対する教員の熱意が感じられる | 569 | 1,124 | 1,420 | 379 | 164 | 55 | 3,711 | | | | | 3.43 | 1.016 | 3.53 | 0.452 |
| | 15.33% | 30.29% | 38.26% | 10.21% | 4.42% | 1.48% | 100.00% | | | | | | | | | | |
| 6 | 教員は教室内で学習にふさわしい状態に 保たれるよう心がけている | 661 | 1,186 | 1,303 | 369 | 143 | 49 | 3,711 | 3.51 | 1.023 | 3.61 | 0.407 | | | | | |
| 17.81% | 31.96% | 35.11% | 9.94% | 3.85% | 1.32% | 100.00% | | | | | | | | | | | |
| 7 | 教員は理解しやすい授業を行っている | 604 | 1,164 | 1,148 | 502 | 246 | 47 | 3,711 | 3.38 | 1.114 | 3.45 | 0.505 | | | | | |
| 16.28% | 31.37% | 30.94% | 13.53% | 6.63% | 1.27% | 100.00% | | | | | | | | | | | |
| 8 | 教員の話し方(スピード、聞き取りやすさ)は 適切である | 631 | 1,194 | 1,192 | 451 | 189 | 54 | 3,711 | 3.44 | 1.072 | 3.51 | 0.407 | | | | | |
| 17.00% | 32.17% | 32.12% | 12.15% | 5.09% | 1.46% | 100.00% | | | | | | | | | | | |
| 9 | この授業によって知的好奇心が刺激されたり、 新しいものの見方が得られたりした | 472 | 1,116 | 1,369 | 449 | 258 | 47 | 3,711 | 3.30 | 1.065 | 3.40 | 0.377 | | | | | |
| 12.72% | 30.07% | 36.89% | 12.10% | 6.95% | 1.27% | 100.00% | | | | | | | | | | | |
| 10 | 総合的に見てこの授業は高く評価できる | 480 | 1,218 | 1,388 | 367 | 190 | 68 | 3,711 | 3.39 | 1.008 | 3.48 | 0.416 | | | | | |
| 12.93% | 32.82% | 37.40% | 9.89% | 5.12% | 1.83% | 100.00% | | | | | | | | | | | |
| 「講義」 「語学」 のみ | 11 | 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である | 688 | 1,161 | 1,096 | 315 | 118 | 333 | 3,711 | 3.59 | 1.023 | 3.65 | 0.440 | | | | |
| | 18.54% | 31.29% | 29.53% | 8.49% | 3.18% | 8.97% | 100.00% | | | | | | | | | | |
| 12 | 教材(教科書、配布資料等)の内容は適切である | 706 | 1,230 | 1,114 | 217 | 103 | 341 | 3,711 | 3.66 | 0.978 | 3.69 | 0.388 | | | | | |
| | | | 19.02% | 33.14% | 30.02% | 5.85% | 2.78% | 9.19% | 100.00% | | | | | | | | |



相関係数表 部門名 計算機センター
形態名 講義

| | Q1 | Q2 | Q3 | Q4 | Q5 | Q6 | Q7 | Q8 | Q9 | Q10 | Q11 | Q12 |
|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----|
| Q1 | 1 | | | | | | | | | | | |
| Q2 | .198(**) | 1 | | | | | | | | | | |
| Q3 | 0.022 | 0.027 | 1 | | | | | | | | | |
| Q4 | 0.021 | 0.022 | .659(**) | 1 | | | | | | | | |
| Q5 | .054(**) | .306(**) | .101(**) | .124(**) | 1 | | | | | | | |
| Q6 | .045(**) | .320(**) | .101(**) | .117(**) | .645(**) | 1 | | | | | | |
| Q7 | .067(**) | .306(**) | .309(**) | .357(**) | .613(**) | .618(**) | 1 | | | | | |
| Q8 | .053(**) | .266(**) | .239(**) | .324(**) | .588(**) | .563(**) | .773(**) | 1 | | | | |
| Q9 | .066(**) | .403(**) | .209(**) | .204(**) | .523(**) | .512(**) | .581(**) | .569(**) | 1 | | | |
| Q10 | .083(**) | .380(**) | .286(**) | .303(**) | .643(**) | .617(**) | .757(**) | .702(**) | .726(**) | 1 | | |
| Q11 | .072(**) | .292(**) | .222(**) | .256(**) | .511(**) | .502(**) | .650(**) | .612(**) | .517(**) | .638(**) | 1 | |
| Q12 | .087(**) | .287(**) | .220(**) | .231(**) | .482(**) | .473(**) | .591(**) | .558(**) | .489(**) | .597(**) | .740(**) | 1 |

** 相関係数は1%水準で有意(両側)です。

【全員回答】

- Q 1 私はこの授業によく出席している
- Q 2 私はこの授業に意欲的に取り組んでいる（事前の準備や復習等を含む）
- Q 3 この授業のレベルについて
- Q 4 この授業を進める速さについて
- Q 5 授業に対する教員の熱意が感じられる
- Q 6 教員は教室内が学習にふさわしい状態に保たれるよう心がけている
- Q 7 教員は理解しやすい授業を行っている
- Q 8 教員の話し方（スピード、聞き取りやすさ）は適切である
- Q 9 この授業によって知的好奇心が刺激されたり、新しいものの見方が得られたりした
- Q 10 総合的に見てこの授業は高く評価できる

【授業形態が「講義」「語学」の場合のみ回答】

- Q 11 板書の仕方やスライド提示の仕方は適切である
- Q 12 教材（教科書、配布資料等）の内容は適切である